

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所 働く力 BASE
住 所	大分県中津市大字宮夫140番地2
電話番号	0979-53-9801

事業所番号	4410300794
管理者名	伊達 俊介
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：ベーベジ（大分県中津市諸田196-1） 実施日程：月曜日・火曜日/毎週 実施した生産活動：パパイヤ及び野菜の収穫及び栽培。 施設外就労の概要：パパイヤの収穫及び栽培を行う補助業務。職員1名、利用者2～3名が従事。</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p> 
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：中津市内において精神障がい者等の理解と社会参加の機会創出。 地域にとってのメリット：障がい者が産業の生産活動の担い手となり、人材の発掘に繋がる。 対象者にとってのメリット：事業所指導員のみならず、外部関係者と関わることで実践に近い訓練が可能。</p>	<p>成果物の写真</p> 
<p><成果></p> <p>実施した結果：令和5年8月より連携。企業の総合的判断により業務委託は、令和6年度4月以降も継続実施。WIN-WINの関係構築したことが結果。 得られた成果：利用者は、一般就職で仕事が長続きしない方々であったが、自分自身も障害を理解し、企業側も障害を理解してくれ、合理的配慮の環境を得られた。そのことにより生産活動において高い評価を受けた。</p>	<p>※表面を傷つけないように丁寧に拭き、出荷する。 糖度があがると色が黄色になる。</p>

連携先の企業等の意見または評価

業務委託をし非常に助かっているという企業側からのご意見をいただく。障害があるないに関わらず、積極的な行動や姿勢が見られ、業務委託の依頼をしやすい。実際にパパイヤを栽培するハウスの中夏場になると高温になり、非常に重労働であることから障害を持つ人にできるのかという思いはなかった事もないが、そうした固定観念を払拭してくれる働きを見せてくれている。仕事の細かい部分に関しては、慣れが必要であるが、それは健常者も障がい者も同じではないか。本来であれば週3～4日と来て欲しいが、企業側の体制の問題がありこれは企業側が努力しなければならないという考えを持っている。今後の展望としては、個性を活かせる環境を構築していく努力をさらに行っていきたいと考えている。施設外就労の利点は十分に理解したが、即事業委託という段階にない企業にとっては、準備期間として個人を知る期間。つまりある程度の技術及び人間性を観察できる時間が欲しい。

連携先企業名	ベーベジ	担当者名	尾方 利光
--------	------	------	-------